

女性目線入った介護施設運営

高齢化が進みリハビリテーションの専門家である理学療法士へのニーズが高まっている。リハビリといえば、スタッフと1対1で歩行訓練をするようすを思い浮かべるが、実際の現場では人手不足や経費削減などもあり、機械や他の職種でまかなうことが多い。そんな現状に飽き足らず、利用者一人一人丁寧に触れ合うことで人気を集めているのが、「孫の手・ぐんま」が運営する介護施設だ。自身も理学療法士である社長の浦野幸子さんは「かゆい所にも手が届く思いやりを持つ」という意味を社名に込めた」と話している。



孫の手・ぐんま 浦野 幸子社長

うらの・ゆきこ 国立仙台病院付属リハビリテーション学院卒。理学療法士。病院などの医療機関で勤務。2001年ハッピーラブハッピー（現孫の手・ぐんま）を設立し、現職。45歳。福島県出身。

外観は「和風旅館」

今年の元旦に群馬県みどり市に、「サービス付き高齢者向け住宅」（サ高住）を新規オープンした。サ高住は介護、医療と連携して高齢者の安心を支える住宅で、全国で16万戸超が運営されている。今回開所した「人生の奥座敷 孫の手」は、訪問看護、通所施設を運営する同社の4カ所目の施設。リハビリ型の通所施設を併設し、内科、薬局を開設したほか、だれでも利用できるカフェもある。和風旅館のような趣ある外観で、訪れた人からは「女性の目線が入っていますね」と好評だ。

ぜいを尽くしているように見えるが、工夫を凝らして出費を抑えている。一例として設備の目玉となる大浴場は、高額な循環濾過装置の導入が義務づけられているために設置していない。その代わりにプライバシーや衛生面の配慮もあり、各室すべてに浴室を備えている。「一斉に入れたほうが、手間はかからない。しかし個別に職員が対応する」と、利用者との触れ合いを密にしている。

同社はサ高住のほか、リハビリ型の訪問・通所施設を群馬県と栃木県で合計4カ所運営している。全国の通所施設の平均稼

働率は70%だが、同社は90%を超えている。訪問看護・リハビリの訪問実績も月2000件に達している。

人の役に立つ仕事をしたいと、小さいころから看護師を目指していた。転機となったのは高校3年のとき、理学療法士がリハビリ指導しているテレビ番組を見たことだった。「リハビリはトレーニングにも似ている、スポーツ好きの自分に合っている」と専門学校に進み、理学療法士になった。

病院などの医療機関で10年勤務。しかし「他の職種との業務連携が少なく、利用者の立場に立っていない」と現状に疑問を持ち、2001年に自宅の一室で訪問看護の会社を立ち上げた。

当時、リハビリは病院か通所施設で行うのが一般的で訪問は珍しかった。しかしすぐに引っ張りだことなる。連日、朝8時から夜8時まで1日9軒を担当するほどだった。「予約が取れない利用者から、『何時でもい

いから来てほしい』といわれたこともある」と振り返る。

「一通所施設の全国平均より高い稼働率だ
「サービスの質を落とさないため、新規希望者を無理に増やしていない。職員が十分に確保できないときは、利用者に対して『通所を週3回から2回に減らしてほしい』などと頼んでいる。サービスの質を保ちたいという方針を理解してくれているので、聞き入れてくれることが多い。利用者との信頼関係が当社の一番の売り物だ」
—介護業界は人手不足で人材確保に苦労している
「当社では職員が安心して働くことができる環境づくりをしている。新規スタッフには手厚い教育プログラムを提供し、未経験者も積極的に採用している。昇給や昇格のチャンスも平等に与えられ、がんばり次第で役員や管理職を目指すことも可能だ。施設内には保育所も完備しており、小さい子供を持つ母親も安心して働くことができる。また外部の講師を招いての研修の機会も設けている。このため定着率は年々上昇している」
—15歳以上65歳未満の生産年齢人口が減り続けている

「高齢者や障害者が働く場をつくらばいい。自分が社会に参加して役に立っているということは、全ての人にとって喜びとなる。例えば脳梗塞の後遺症で左手が動かない人の場合、右手を使うことはできる。このため右手用の生産ラインを作れば働くことができる。これまで活用されてこなかった人材を生かすことで、労働力不足を補い、人生のやりがいを見いだすことにもつながる」

は介護職員を12年比で60%増やさなければならぬ。人材不足は深刻だが次世代育成のため、高校でのヘルパー養成講座の講師を務めるほか、昨年から高校新卒者を採用している。「やりがいや意義を実感して、介護職を志してもらいたい。このため、小中学生の職場見学も受け入れている」と豊かな高齢化社会の実現を目指す。

厚生労働省によると、25年に

Q&A

保育所完備 働く母親支援



施設内で談笑する入所者＝群馬県みどり市の「人生の奥座敷 孫の手」

■会社概要
 ▷本社＝群馬県太田市大原町156-3
 ▷設立＝2001年2月
 ▷資本金＝1000万円
 ▷従業員＝138人
 ▷事業内容＝訪問看護、通所介護、訪問介護、短期入所者生活介護、居宅介護支援など

（佐竹一秀）